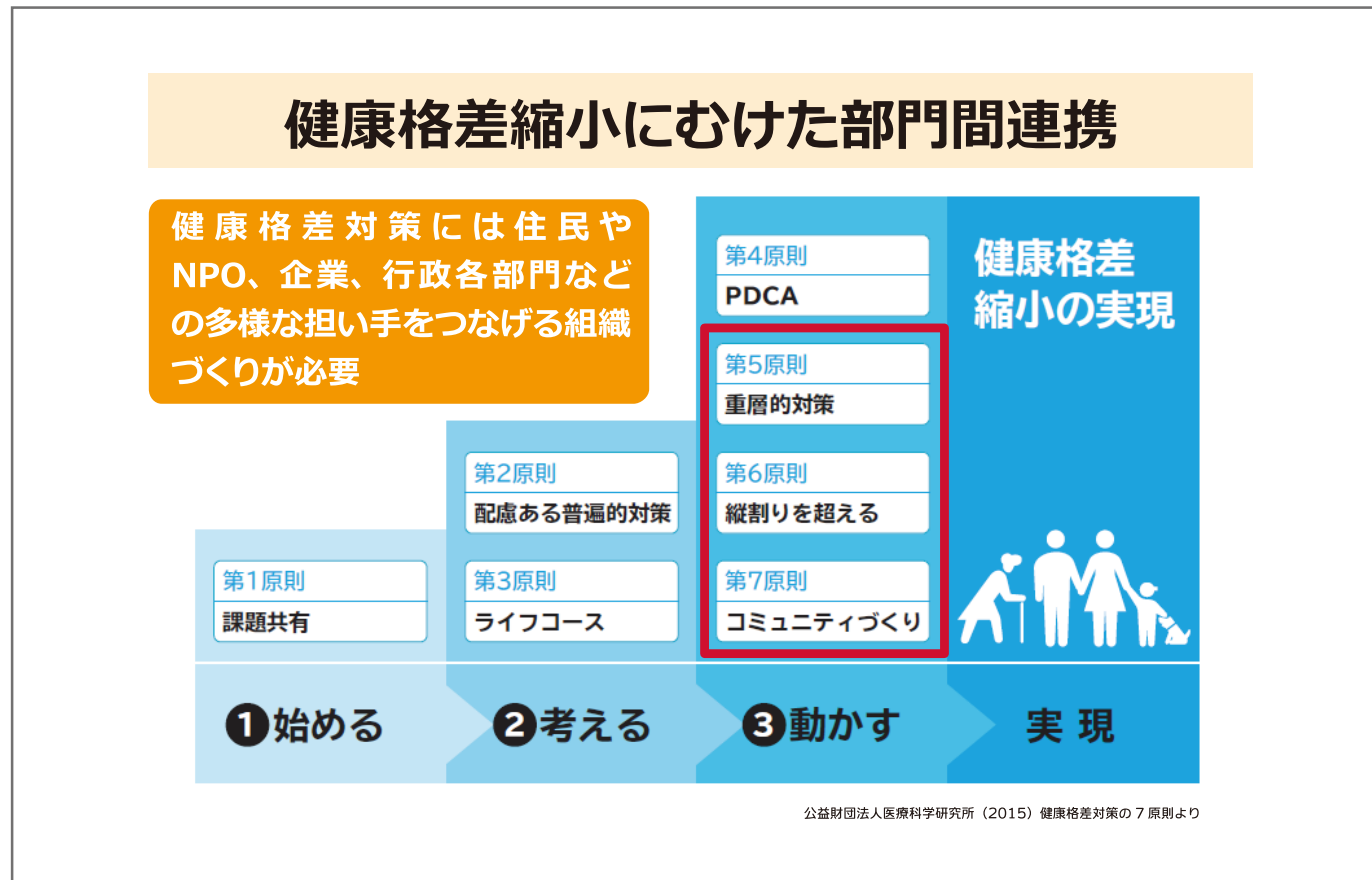


健康格差縮小にむけた部門間連携

健康格差対策には住民やNPO、企業、行政各部門などの多様な担い手をつなげる組織づくりが必要



◆スライド解説



解説

健康格差縮小の実現には、多様な担い手を「動かす」ことが不可欠。

目標を定め、成果を評価し、次の活動につなげる第4原則PDCA(plan、do、check、action)に加え、以下の3原則が重要。

- 第5原則「国・地方自治体・コミュニティなどの特性と関係を理解した重層的対策」
- 第6原則「住民やNPO、企業、行政各部門などの多様な担い手をつなげる、すなわち縦割りを超える」
- 第7原則「まちづくりをめざす健康以外の他部門との協働によるコミュニティづくり」

